

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2年 3月 16日

事業所名 ドーユーラボひやごん

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				児童に合わせてスペースの改善、検討を随時行うようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		利用定員数にあった人員配置を守るよう調整している。	利用定員数に応じた適切な配置になるように細心の注意を払い、児童の安全確保に努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		室内段差はなく、ほぼバリアフリー段差がないようにしている	保護者の要望によりバリアフリーなど改善できるところは改善を行えるよう努力していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		定期ミーティングで目標を共有している ミーティングにて共有している	業務が固定されないよう、適宜目標設定や振り返りを行い全職員周知を行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			定期的にアンケート調査実施している 評価表以外でも保護者希望により随時アンケートなどを実施している	引き続き、評価表以外での希望・要望が保護者よりあればアンケート調査を実施していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		週に1回、協定医療機関の精神科医とミーティングを行っている	定期的に精神科医とのミーティングは行っているが、それ以外での第三者の意見も取り入れていけるようにしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			研修には積極的に参加している 全ての職員が様々な研修に参加できるように調整をしている	研修を行う職員が固定されないよう全ての職員が資質向上のために研修への参加、その後の事業所内でのOJT(社内研修)を行っていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			アセスメントや活動の中で気づいたニーズ、課題等を分析し、計画に取り入れている。	普段の保護者からの会話からニーズや課題を見つけられるよう、日々職員間で共有し、計画に盛り込めるように進めていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		適切な様式にて行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2		定例ミーティングで活動内容を話し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			児童の様子を把握しつつ、状況に応じて臨機応変に対応している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		長期休暇は宿題の支援などを強化している	長期休暇の際には、長時間利用する児童も多いので、外出での活動や学習への取り組み強化を心がけていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		17時から集団活動を行っている 児童の特性に合わせて個別も集団も含めて作成をしている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎朝、朝礼で確認 毎朝のミーティングで児童の様子や対応を話している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			適宜、報告・情報交換をしている 各職員で日報を共有している	送迎等で振り返りが行えない職員もいるため、日々の日報等での報告にて全ての職員が把握できるように継続して共有事項を報告していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			毎日、来所した児童の記録をつけている 日報や保護者との連絡帳など	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1			モニタリング日が遅れている児童が数名いるので、早急なモニタリング、計画の見直しを行います。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2		先生から直接学校での様子等を送迎の際に聞く機会があり情報共有している。	情報共有している学校としていない学校があるため、学校との連絡調整を適切に行えるように進めていきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		医療的ケアが必要な児童の受け入れはなし	現時点で、医療的ケアが必要な児童は受け入れをしていないが、今後必要な児童が利用された場合には、適切な体制を整えていきます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			3	2	就学後に通所開始する児童が多いため、就学前利用していたところとの情報共有は行っていない	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				5	移行児童なし 卒業する児童はまだなし	今後そのような児童がいる際には、保護者同意の下、積極的に情報提供を行えるようにしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2		3		毎週月曜日に精神科医から助言を受けている。	定期的な精神科医とのミーティングを継続しつつも発達支援センターなども連携をし、様々なところから助言、研修を行っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1		2	2		今後、新規事業所開設に伴い、検討予定です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1		2	2		地域自立支援協議会等への参加は行っていない為、積極的に参加していくようにします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				SNSを使い、保護者からも気軽に連絡してもらえようとしている 送迎時、連絡帳、保護者会を通して共有している	連絡帳やLINE、保護者会以外でもお迎え時や送迎時に状況等を伝えていけるように進めていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている				5		ペアレント・トレーニング等の支援を行うために、職員の資質向上を含めて研修を行い、保護者への支援に繋げていきたいと思えます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				契約時に行っている	契約時に行っていますが、忘れてしまった場合でも説明できる体制を整えておきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				送迎時、連絡帳、保護者会を通して共有している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5				定期的に保護者会を開催している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				すぐに対応・職員間の周知、改善をしている	苦情、要望があった際にはすぐさま職員間にて周知、共有を行い改善できることは迅速に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2		3		SNSを利用し、施設の様子いつでも保護者が確認できるようにしている 会報はないが、SNSで個人情報等に配慮しながら活動内容を発信している	SNSにて個人情報等に配慮して発信を行なっているが、確認できない保護者がいることを念頭において、LINEやメール等に配信を行えるよう配慮していきます。
	35	個人情報に十分注意している	5					全ての職員共通認識の上、個人情報漏洩に細心の注意を払います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5					

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		地域の掃除活動をしている 保護者会では利用家庭以外の保護者も参加している	個人情報等に注意をしつつ、地域住民等を含めた事業運営を行っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		マニュアルの掲示をし、常に見えるところにある	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	3			訓練を行った際には、保護者も確認できるようホームページやSNSなどを利用し、周知報告致します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				定期的に全ての職員への研修機会を確保し、尚且つ、研修後社内での報告なども行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		5		身体拘束を必要とする児童なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		保護者からの依頼により対応	保護者からの情報はもらっていますが、医師の指示書までは確認できていないので、指示書をもとに対応できるよう進めています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				